

平成30年7月19日  
東北電力株式会社

女川原子力発電所2号炉 指摘事項に対する回答一覧表  
(中央制御室)

No.	分類	項目	審査 会合日	回答
1	指摘 事項	監視カメラが使えない時の代替設備及び措置(運転員による確認)を明確に説明すること。	H27.6.11	監視カメラ以外で中央制御室にて監視可能なパラメータ(気温等)を監視することで外部状況の把握に努めつつ、気象等に関する公的機関からの情報も参考とし、原子炉施設に影響を及ぼす可能性がある自然現象等を把握する。 (資料1-2-3にて6/12回答済)
2	指摘 事項	酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計の設置場所等の詳細運用が固まり次第説明すること。	H27.6.11	酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計は, 中央制御室には予備を含めて2個ずつ保管し, 待避所には1個ずつ保管する。使用時には, 運転員の監視性を考慮した場所において測定を行う。 (資料1-2-3にて6/12回答済)
3	指摘 事項	被ばく評価を通して, 格納容器貫通孔のDF等の評価条件に関して最確条件による中央制御室の居住性を示すこと。また, 不確かさについても合わせて整理すること。	H30.5.17	本来プラントが持つ放射性物質の除去効果や保持機能については, 事故時におけるプラントの状態を踏まえ最確条件を設定し, そのうえで中央制御室運転員に対する線量影響を示していく。また, これまでの評価は, 放射性物質に対する除去効果等に対する不確かさを考慮したケースとして位置づけ, SGTSの扱いについて整理していく。 (資料1-1-2にて本日一部を回答)

No.	分類	項目	審査 会合日	回答
4	指摘 事項	発電所におけるマスクの漏えい測定 の漏れ率を用いても被ばく評価 条件の除染係数を満足することを 整理して説明すること。	H27. 6. 11	本指摘事項については、最確条件を設 定した中央制御室の運転員の被ばく評 価結果とあわせて、後日回答する。
5	指摘 事項	被ばく評価について、マスクを外す 時間を考慮し説明すること。	H27. 6. 11	
6	指摘 事項	マスク着用なしの中央制御室滞在 時の被ばく評価結果を説明するこ と。	H27. 6. 11	
7	指摘 事項	貫通孔の DF 設定について、実証試 験結果の適用検討にあたって、エア ロゾル粒径の移行プロセス、シール 材の劣化等、実機の状態を考慮する こと。	H30. 6. 12	格納容器貫通孔の DF 設定について、実 証試験結果の適用検討にあたって、女 川 2 号炉の重大事故時におけるエアロ ゾル粒径の移行プロセス及びシール材 の劣化等、実機の状態と試験条件を比 較し適用性があることを確認した。そ のうえで、漏えい部位等の不確かさを 考慮し DF=10 を適用することとした。 (資料 1-1-2 にて本日回答)